

6月定例会総括

平成24年度6月定例会は6月13日より19日までの5日間にわたり開催されました。

市当局からの上程議案は、報告議案として本年度及び昨年度の一般会計補正等の専決処分および条例の一部を改正する専決処分の承認が11件、一般会計補正予算や条例の一部改正を含む本年度議案は7件と、石井市長の退任が間近な日程での開催のため、比較的上程議案数は少ない印象ですが、重要な案件も多く、特に今議会で上程審議された国民健康保険税条例の一部改正については、その負担税率が皆様の生活に直結するだけでなく、今後の下田市が抱える高齢化に向けた福祉政策計画の基盤を執行機関がどう捉えているのかが焦点となり、本議会、委員会審議とも白熱した議論が取り交わされました。

一般質問には2人の議員が登壇され、エネルギー政策、防災、庁舎移転計画、消防広域化、新病院、伊豆縦貫道、石井市政の12年間にについてを質問されました。

総務文教 常任委員会

委員長 土屋雄二
副委員長 竹内清二
委員 伊藤英雄 大黒孝行
田坂富代 森 温繁
大川敏雄

本委員会に付託された議案は議題32号「下田市印鑑条例等の一部を改正する条例の制定について」平成24年7月9日より外国人登録法が廃止となり、外国人の方も住民基本台帳制度の対象となるため、法の一部改正により対応する。

第1条下田市印鑑登録資格を一本化するための条例の一部改正です。外国人の方はこれまでどおり住民票に登録された内容であれば、漢字だけでなくカタカナ、ローマ字等の印鑑登録をすることができま

す。第2条「下田市手数料条例の一部改正」は、住民基本台帳の外国人登録に関する証明1件につき300円が廃止される、住民基本台帳法を一部改正して、こ

で取り扱う。

第3条「下田市こども医療費の助成に関する条例の一部改正」住民基本台帳法を一部改正して、ここで取り扱う。第2条、第3条につきましましては、取り扱う場所が変更するのみで手続きと内容については変更ありません。

平成24年度下田市一般会計補正予算(第3号)

歳入

◎企画財政課

■財政調整基金繰入金

(1200万円)
財政調整基金繰入金(通常分)平成24年度6月補正財政調整基金から繰入金。

■雑入

(500万円)
自治総合センターコミュニティ助成金

◎総務課

■保険金受入金

(286万円)
保険金受入金、建物損害に係る全国市有物件災害共済

会から保険金5件と、公用車車輛損害に係る市有物件共済及び自動車共済からの保険金2件。

◎市民課

■県費・地域防災対策費補助金

(26万6千円)
住民防災教育事業。海抜表示図の作成、県補助金。

歳出

◎企画財政課

■地域振興事業

(500万円)
自治総合センターコミュニティ助成金補助金。太鼓台修繕費(七軒町町内会、三丁目町内会)

■電算処理総務事業

(37万8千円)
国民年金システム改修作業委託。住民税法改正に伴い国民年金システムを改修。

■ネットワーク推進事業

(21万5千円)
回線使用料。出先の環境対策課と教育委員会との回線変更。

◎総務課

■都市交流事業

(22万円)
ニューポート市中学生派遣補助金。航空運賃及び燃料サーチャージヤー等の値上がりによるもの。

■庁舎管理事業

(46万1千円)
架設料。NTT光ケーブルに切り替える効果は通話料が割安になり、施設と本庁との通話料金が無料になり月額9万6千円程度の削減ができる。

◎税務課

■資産税務課税事務

(160万7千円)
不動産鑑定委託、臨時雇賃金(震災等緊急雇用対応分)

◎市民課

■地域防災対策総務事務

(80万円)
印刷製本費
海拔表示図の全戸配布。

■地域防災組織育成事業

(150万円)
下田市災害用避難施設整備事業補助金。昨年の予算で

議会改革 特別委員会

委員長 鈴木 敬
副委員長 土屋 忍
委員 竹内清二 小泉孝敬
伊藤英雄 土屋雄二
岸山久志

議会改革特別委員会は、さる7月5日(木)、6日

(金)の2日間をかけて、三島市、富士市、そして愛知県の犬山市へ現地視察に行つて来ました。視察の目的は、それぞれの市において議会中継や議会報告会がどのように実施されているのか、その現状を見聞し勉強をして来る事です。

視察内容は以下の通りです。

(1) 三島市

人口 約11万3千人
議員定数 24人

◆議会改革検討特別委員会が平成17年に設置され、議会運営の改善に取り組んでいる。20年に議会基本条例等検討特別委員会に引き継がれ、23年に議会報告会実施要請と議会基本理念が策定される。議会基本条例の制定は見送られる。

◆議会報告会について

平成23年10月に第1回議会報告会が開催される。全議員24人を8人編成3班に分け、市内6地区を巡回して実施。

報告事項は議会の活動状況、予算・決算等の審議状況、その他重要と思われる事項。報告会議、行政に対する重要な要望や提言は市長に通知される。

報告会への参加市民数は6会場で186人である。

◆議会中継について

平成11年9月から本会議の録画放送を開始し、12年6月からは市専用のCATVチャンネルでライブ中継を実施する。22年6月定例会からはインターネットを利用した映像配信を開始する。23年度視聴状況は、ライブ中継2256件、録画中継3881件である。

(2) 富士市

人口 約26万人
議員定数 36人

◆議会改革検討委員会が平成19年に設置される。当初は正副議長の任期をどうするかが問題であった。

20年に、インターネットでの議会中継配信を決定。21年3月に、議会議規則

に改革検討委員会の組織を明文化する。

23年4月、議会基本条例を制定し施行する。二元代表制における議会の機能発揮を図る。決算重視の姿勢を明確にし、事業評価を通じて市長に議会の意思を通知し、予算に反映させるように求める。決算委員会を常任委員会とする。

◆議会報告会について

議会基本条例に年一回以上の開催を条文化する。運営は議員6人ずつで6班を編成し、6地区会場で開催する。開催場所は地区まちづくりセンター(公民館)

報告内容は、議決の概要や議会の活動状況その他重要と思われる事項。報告文案は各班統一する。報告会后、実施報告書を取りまとめ、市政に対する重要な要望、提言等は文書で市長に通知する。

報告会参加市民数は、平成23年11月開催6会場で235人。

◆議会中継について

従前から本会議上にカメラ2台を設置し、庁舎2階のモニターテレビに配信している。

インターネットによる議

会中継のライブ・録画配信は平成20年11月定例会から導入される。中継の対象となるのは本会議のみ。

年間アクセス数は、22年においてはライブ・録画中継併せて6352件。

(3) 愛知県犬山市

人口 約7万5千人
議員定数 20人

◆議会改革推進委員会を平成22年に立ち上げる。情報公開の促進を図る。ユーストリームによる議会中継を22年11月定例会より開始する。

議員間討議の促進を図る。全員協議会の機能、役割を拡充し、議員間討議の場とする。議会基本条例を制定し、23年10月より施行する。市民等との意見交換の場を設定する。オープン議長室も設定し、議長室を市民に開放する。

◆市民との意見交換会について

議会基本条例で、市民への情報公開と意見集約を目的として開催を規定する。平成23年度は講演会と分科会、それに地元名物料理の試食会が実施された。分科会は3常任委員会に分か

れ、それぞれの委員会が防災対策やスポーツ施設の活用やごみ問題等をテーマに、市民との意見交換を実施した。

参加市民数は約350人

◆議会中継について

平成15年度から、定例会一般質問のインターネット録画配信を開始する。

22年度から定例会・臨時会の本会議全日程をインターネットライブ配信する事を決定し、必要な経費を検討した結果ユーストリームを利用することとする。

アクセス数は、ライブ配信一日約10人、録画配信3ヶ月500人。

以上見て来たように、三島市、富士市、犬山市ともに積極的に議会改革に取り組んでいます。

議会中継、議会報告については、その参加人数、アクセス数など物足りない点などですが、広報の仕方などでかなり改善されると考えられています。なにより議会制民主主義における二元代表制の機能発揮を追求し、議会の価値を高めていこうとする強い意思が感じられました。